

□本號には三葉の繪畫を挿入致候、爾來隔月若くは三ヶ月目に三葉宛挿入致すべく、猶次號には多少紙數を増加可致候

□次號以下には『イースト氏寫生談』の續稿山本氏『版のなぐさみ』の續稿、丸山氏の『緑の新たる研究』、畔川氏の『圖按法概要』、戸張氏の『コンボジションの話』、『ラスキン氏樹木の研究』、『色彩應用論、寫生の部』の續稿、大下氏の『靜物寫生の話』續稿、並びに『日本の春』及『ピーター、デ、ウイントの傳』

『小笠原寫生紀行』等を引續き掲出可致候

□本年の水彩畫夏期講習會は、第一奈良、第二日光、第三越後柏崎の三ヶ所のうちに、會場其他便宜のよき土地にて開催致度、昨年之如く主力を分つことは出席者に充分教導致し難き虞れ有之候間、今年は場所は一ヶ所として、講師として丸山晚霞、大下藤次郎兩氏出席可致、若し講習生多數なるときは講師の數を増すべく候

□課目は墨繪、水彩畫、透視畫法、會期は八月一日より十五日間、會費は記名料金壹圓講習料金貳圓、本會指定の宿泊料は一日

金五十錢以内の豫定に御座候、但日本水彩畫會會友及地方講習生は記名料半額

□三ヶ所のうち其何れに可相成が未定なれど、出席希望の方は、遅くも本月十五日頃迄に場處を指定し、ハガキを以て假申込をなし置かれたく、さすれば規定出來次第御送付可致候

□十五日間の時日は僅少なれど、其間は殆ど水彩畫趣味世界に生活すると同様にて、直接間接に利益することの大なるべきは言ふを俟たず、尙參考品としては多數の肉筆畫及版畫を携へゆき展覽に供すべき筈に御座候

□既に御承知の通り、本會開催の夏期講習會は斯道普及のため、暑熱の候、多忙の身を捧げて開會致候事故、出席者少數にして收支相償はぬやうにては開會致候候故、なるべく多數の出席を希望致候。

### 問に答ふ

□一 水彩畫階梯の定價及發行所二 繪ハガキ金色夜叉は何處にありや三 大下先生著の書物あらば詳しく知りたし四 日本水

彩畫會入會の際の書式(花輪町ハーバート生)◎一 定價送料共三十四錢、本會にて取次すべし二 半込神樂坂盛文堂の發行なれど今は多分品切ならん三 水彩畫階梯のほかに著書なし四 入會の趣旨さへ明かなればよろしい別に書式はなし

■日本水彩畫會に入學するには如何なる學問が入用にや(獨學希望者)◎中學校卒業程度ならよろしけれど小學校だけでも入學差支なし■會友にして水彩畫研究所へゆき親しく批評を乞はんとするには何日頃が都合よろしきや(吉田生)◎毎月第四日曜日には午前九時より二時間水彩畫講話、十一時より一時間透視畫法講義、午後一時より三時迄成績品批評、三時より日没迄茶話會あり、會友並びに本誌讀者(但都合により謝絶することもあり)は出席を許すべし、但茶話會に出る人は會費金拾錢を要す

■太平洋畫會水彩畫評は七月號に出すべし。■夏期講習會の場處は多分奈良地方なるべく、關西美術會の鹿子木、都鳥諸氏も援助せらるべし。